

第1回 三重県行財政改革推進本部の概要

1 開催日時：平成23年6月6日（月）9：20～9：50

2 開催場所：プレゼンテーションルーム

（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

● 冒頭、知事あいさつ

- ・ これからの時代は、外部から言われたから行財政改革に取り組むということではなく、時代変化や県民ニーズの変化に合わせて、自ら変えていく力により、率先して改革していくことが大切。
- ・ 一朝一夕にできることではないが、三重県が自立した県政運営を行っていると言えるよう取り組みたい。
- ・ 具体的には、三重県版事業仕分けや外郭団体の見直し、職員のモチベーションアップに取り組む。
- ・ 本部員の皆さんと力を合わせて取り組んでいきたい。

議題1 三重県行財政改革推進本部の設置について

（三重県行財政改革推進本部設置要綱に基づき説明、質疑なし）

議題2 新たな行財政改革の取組について

（行財政改革のキーワード、検討の仕組み、取組項目（例）、検討スケジュール等について説明）

- ☆ 「行財政改革検討チーム」の構成はどのようなものか。
- 総務部内の職員で構成。既に立ち上げ、検討を始めている。
- ☆ 組織の見直しと適正な人員配置は、具体的にどのように進めるのか。
- 新しい県政ビジョンの方向性や実施計画での施策の整理を踏まえて検討する。
- ☆ これまでも行財政改革に取り組んできており、新たな行財政改革を進めるのであれば、職員のモチベーションを上げる取組もあわせて行う必要がある。
- 職員のモチベーションについては、三重県行財政改革専門委員会の委員に民間の専門家もおり、アイデアをいただきながら検討する。
- ☆ 事業仕分けを行うにあたっては、今年度策定する新しい県政ビジョンの各施策の方向性と整合するよう十分整理する必要がある。
- 事業仕分けの対象となる事務事業は上位の施策目標達成のための手段である。施策目標の達成のためにこの事業で良いのかという視点になる。